



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月5日

上場会社名 株式会社スズケン  
コード番号 9987 URL <http://www.suzuken.co.jp>

上場取引所 東名札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮田 浩美

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務経理部長 (氏名) 野原 正伸

TEL 052-961-2331

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	1,617,280	0.2	13,970	2.2	21,168	2.3	14,942	14.3
29年3月期第3四半期	1,613,820	2.5	13,672	42.5	20,692	33.2	17,443	13.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 17,280百万円 (20.2%) 29年3月期第3四半期 14,380百万円 (48.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	157.24	
29年3月期第3四半期	176.63	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	1,254,585	401,734	32.0
29年3月期	1,109,012	396,496	35.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 401,084百万円 29年3月期 395,944百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		27.00		27.00	54.00
30年3月期		27.00			
30年3月期(予想)				27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,111,500	0.7	13,600	27.3	22,950	17.3	15,850	25.6	166.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成30年2月5日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	103,344,083 株	29年3月期	103,344,083 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	8,647,782 株	29年3月期	6,721,683 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	95,031,309 株	29年3月期3Q	98,758,292 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や政府の経済政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続いております。

当社グループは、新たな3ヵ年の中期成長戦略「One Suzuken 2019」を策定し、本年度よりスタートいたしました。中期ビジョンで掲げたNumber One「顧客信頼度最大化への挑戦」、Only One「唯一無二のビジネスモデル」、One Point Improvement「生産性向上による販管費率の改善」、One Group「共通の基盤、共通の価値観」の4つの「One」の実現に向けて、お得意さまの真のニーズの追求と対応、さまざまな企業との協業による新たな機能やビジネスモデルの構築、さらに、低コスト体制の実現により、更なる企業価値向上を目指しております。

当第3四半期連結累計期間においては、新薬剤管理システムである「キュービックス」の管理用冷蔵庫の開発・製造・運用などを共同で行っているヤマト科学㈱と資本業務提携を行うとともに、製薬企業や医療機関、保険薬局、患者さまへの新たな価値を創造するために、革新的な製品とサービスの開発を推進してまいりました。

また、激変する環境のなかで、業務改革による生産性向上とコスト構造改革が喫緊の課題であり、その対応として、当社およびグループ卸において、平成29年12月31日を退職日とする希望退職者の募集、㈱三和化学研究所においては平成30年1月31日を退職日とする早期退職希望者の募集を行い、特別退職金などの特別損失を計上しました。

さらに、保有する資産の効率化を図るため、投資有価証券の一部を売却し特別利益を計上しております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1兆6,172億80百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は139億70百万円（前年同期比2.2%増）、経常利益は211億68百万円（前年同期比2.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は149億42百万円（前年同期比14.3%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円未満切捨て）

セグメントの名称		平成29年3月期 第3四半期累計期間	平成30年3月期 第3四半期累計期間	増減率(%)
医薬品卸売事業	売上高	1,542,215	1,548,431	0.4
	営業利益	9,526	10,036	5.4
医薬品製造事業	売上高	49,573	40,973	△17.3
	営業利益	3,461	1,081	△68.8
保険薬局事業	売上高	73,015	74,115	1.5
	営業利益	685	2,208	222.3
医療関連サービス等事業	売上高	32,828	38,298	16.7
	営業利益	417	816	95.5

（注）セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

（医薬品卸売事業）

医療用医薬品市場は、後発医薬品使用促進およびC型肝炎治療剤市場縮小の影響があったものの、抗悪性腫瘍剤市場の拡大により、僅かながら伸長したものと推測しております。

そのようななか、売上高は、C型肝炎治療剤の販売減少の影響があったものの、抗悪性腫瘍剤の販売増加や全社をあげて取り組んでいるスマイル活動（顧客信頼度最大化への挑戦の取り組み）の成果などにより微増収となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費の抑制に努めたことなどにより増益となりました。

なお、流通改善の取組みとして、個々の医療用医薬品の価値に見合った価格交渉を徹底し、適正利益の確保に注力しております。

また、卸物流を担う「西神物流センター」が平成29年4月より稼働し、同じ建物内にメーカー物流・輸配送ターミナルを有した業界初となる併設型複合センターとして安定稼働しております。また、配送実績管理システムの導入により、お得意さまへの配送の見える化を推進し、配送の効率化に取り組んでおります。

さらに新薬剤管理システムである「キュービックス」については、東名阪を中心に導入を開始しており、高額医薬品や希少疾病薬の新たな流通モデルの構築に取り組んでおります。

これらの結果、売上高は1兆5,484億31百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は100億36百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

(医薬品製造事業)

売上高は、DPP-4阻害剤「スイニー錠」、高尿酸血症・痛風治療剤「ウリアデック錠」など糖尿病関連商品を中心に販売促進に努めたものの、平成29年6月に糖尿病食後過血糖改善剤「セイブル錠」の後発医薬品が上市されたことやニュートリション事業譲渡の影響などにより、減収となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの、減収の影響により減益となりました。

これらの結果、売上高は409億73百万円（前年同期比17.3%減）、営業利益は10億81百万円（前年同期比68.8%減）となりました。

(保険薬局事業)

売上高は、M&Aおよび新規出店や、薬局のかかりつけ機能強化の取組みによる技術料収入の増加などにより、増収となりました。

営業利益は、増収効果および販売費及び一般管理費の抑制に努めたことにより増益となりました。

これらの結果、売上高は741億15百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は22億8百万円（前年同期比222.3%増）となりました。

(医療関連サービス等事業)

売上高は、主に、メーカー支援サービス事業（医薬品メーカー物流受託・希少疾病薬流通受託）の受託が増加したことにより増収となりました。

営業利益は、メーカー支援サービス事業および介護事業における増収効果により増益となりました。

これらの結果、売上高は382億98百万円（前年同期比16.7%増）、営業利益は8億16百万円（前年同期比95.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,455億72百万円増加し1兆2,545億85百万円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

流動資産は前連結会計年度末に比べ1,564億33百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が817億7百万円、受取手形及び売掛金が435億71百万円、商品及び製品が251億41百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ108億60百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が20億1百万円、無形固定資産が21億96百万円、投資その他の資産が66億62百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,403億34百万円増加し8,528億50百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,385億37百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ52億38百万円増加し4,017億34百万円となりました。これは主に、剰余金の配当の支払51億65百万円、自己株式の取得等による減少68億79百万円があったものの、その他有価証券評価差額金の増加20億88百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益を149億42百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月24日に公表いたしました通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成30年2月5日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	108,276	189,983
受取手形及び売掛金	497,929	541,501
有価証券	32,162	38,217
商品及び製品	141,373	166,514
仕掛品	3,387	2,677
原材料及び貯蔵品	4,281	3,219
その他	36,886	38,044
貸倒引当金	△2,545	△1,972
流動資産合計	821,753	978,186
固定資産		
有形固定資産	121,809	119,808
無形固定資産		
のれん	1,898	1,456
その他	15,573	13,818
無形固定資産合計	17,471	15,275
投資その他の資産		
投資有価証券	119,410	111,841
その他	29,106	30,028
貸倒引当金	△538	△554
投資その他の資産合計	147,977	141,314
固定資産合計	287,259	276,398
資産合計	1,109,012	1,254,585

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	652,655	791,193
短期借入金	89	69
未払法人税等	6,479	5,183
返品調整引当金	543	557
賞与引当金	8,072	3,879
その他	11,985	18,013
流動負債合計	679,825	818,895
固定負債		
長期借入金	15	8
役員退職慰労引当金	542	551
退職給付に係る負債	3,270	3,322
その他	28,862	30,072
固定負債合計	32,691	33,955
負債合計	712,516	852,850
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,546	13,546
資本剰余金	39,069	39,073
利益剰余金	326,935	336,712
自己株式	△20,158	△27,038
株主資本合計	359,392	362,293
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,043	44,131
土地再評価差額金	△5,771	△5,771
為替換算調整勘定	216	254
退職給付に係る調整累計額	63	176
その他の包括利益累計額合計	36,551	38,791
非支配株主持分	552	649
純資産合計	396,496	401,734
負債純資産合計	1,109,012	1,254,585

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	1,613,820	1,617,280
売上原価	1,469,465	1,476,272
売上総利益	144,355	141,008
返品調整引当金戻入額	626	543
返品調整引当金繰入額	568	557
差引売上総利益	144,412	140,993
販売費及び一般管理費	130,740	127,022
営業利益	13,672	13,970
営業外収益		
受取利息	373	281
受取配当金	1,477	1,538
受入情報収入	4,138	4,242
その他	1,449	1,422
営業外収益合計	7,440	7,484
営業外費用		
支払利息	39	43
不動産賃貸費用	177	168
その他	203	74
営業外費用合計	420	286
経常利益	20,692	21,168
特別利益		
固定資産売却益	71	28
投資有価証券売却益	6,141	6,110
その他	1,048	—
特別利益合計	7,261	6,138
特別損失		
固定資産除売却損	222	177
減損損失	252	—
災害による損失	586	—
特別退職金	403	4,634
その他	71	34
特別損失合計	1,536	4,845
税金等調整前四半期純利益	26,417	22,461
法人税等	8,908	7,420
四半期純利益	17,508	15,040
非支配株主に帰属する四半期純利益	65	98
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,443	14,942



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	17,508	15,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,630	2,088
為替換算調整勘定	△56	0
退職給付に係る調整額	139	113
持分法適用会社に対する持分相当額	△580	37
その他の包括利益合計	△3,128	2,239
四半期包括利益	14,380	17,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,316	17,182
非支配株主に係る四半期包括利益	63	98

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年5月11日開催の取締役会決議に基づき、平成29年5月16日付で自己株式1,931,800株（取得価額6,896百万円）の取得を行いました。

これを主な要因として、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が6,879百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が27,038百万円となっております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	1,505,428	15,699	73,003	19,689	1,613,820
セグメント間の内部売上高 又は振替高	36,786	33,874	12	13,138	83,812
計	1,542,215	49,573	73,015	32,828	1,697,633
セグメント利益	9,526	3,461	685	417	14,091

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,091
セグメント間取引消去	△418
四半期連結損益計算書の営業利益	13,672

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	1,508,996	12,843	74,101	21,338	1,617,280
セグメント間の内部売上高 又は振替高	39,434	28,130	13	16,959	84,537
計	1,548,431	40,973	74,115	38,298	1,701,818
セグメント利益	10,036	1,081	2,208	816	14,143

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,143
セグメント間取引消去	△172
四半期連結損益計算書の営業利益	13,970

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。